

吉備路が舞台の 文学作品

〈特別展〉



2023.12.3 ①
▼
2024.2.25 ②

吉備路とは、岡山県全域（備前・備中・美作）と広島県東部（備後）の地域を古くから呼称した言葉です。

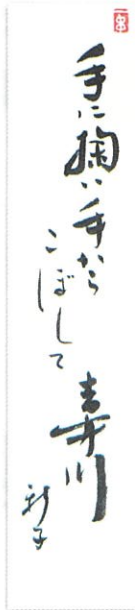
吉備路には海、山、川、町、村があり、それぞれの時代の人々が暮らしてきました。そのような吉備路の地は、文学作品のなかでどのように書かれているのでしょうか。瀬戸内海はキラキラしているのでしょうか。人々はのんびり暮らしているのでしょうか。自然豊かななかのイメージもあれば、おどろおどろしいイメージも。どれが本当の吉備路なのでしょう。吉備路の文学の不思議にせまります。

本展では、図書・雑誌・原稿・短冊などの展示を通して、吉備路の文学者が書いた吉備路を舞台にした文学作品について紹介いたします。また、吉備路以外の文学者が書いた作品についてもパネルにしています。

現実の地と文学作品の舞台がつながっている感覚を味わってみてください。作品の中を歩いているような気持ちで、展示をご覧くださいいただければと思います。

〈おもな展示文学者〉

正宗白鳥、内田百閒、坪田譲治、井伏鱒二、横溝正史、木山捷平
永瀬清子、柴田錬三郎、藤原審爾、あさのあつこ ほか



「手に握る手からこぼして吉井川」

川柳短冊（時実新子筆）



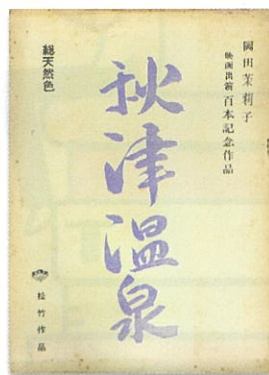
図書『バッテリー』
（あさのあつこ著、教育画劇、平成8年）



図書『獄門島』
（横溝正史著、岩谷書店、昭和24年）



図書『図々しい奴 戦前の編』
（柴田錬三郎著、光文社、昭和35年）



映画シナリオ「秋津温泉」
（原作：藤原審爾著『秋津温泉』）



図書『子供の四季』
（坪田譲治著、新潮社、昭和13年）

北泉庭のご案内

吉備路文学館には、小さな日本庭園があります。
館内からゆっくりながめたり、庭をめぐってみたり。

春 夏 秋 冬

四季それぞれの彩りをお楽しみいただけます。



吉備路文学館
KIBIJI LITERARY MUSEUM

〈交通のご案内〉JRでお越しの方：岡山駅より徒歩15分、タクシー3分

バスでお越しの方：岡電バス〔妙善寺・三野公園〕行、または宇野バス〔美作方面〕行で「南方交番前」下車徒歩3分

お車でお越しの方：文学館前の道路は午前東行・午後西行の一方通行です。